

6 - 6 中国地方とその周辺の地震活動 (1986年11月～1987年4月)

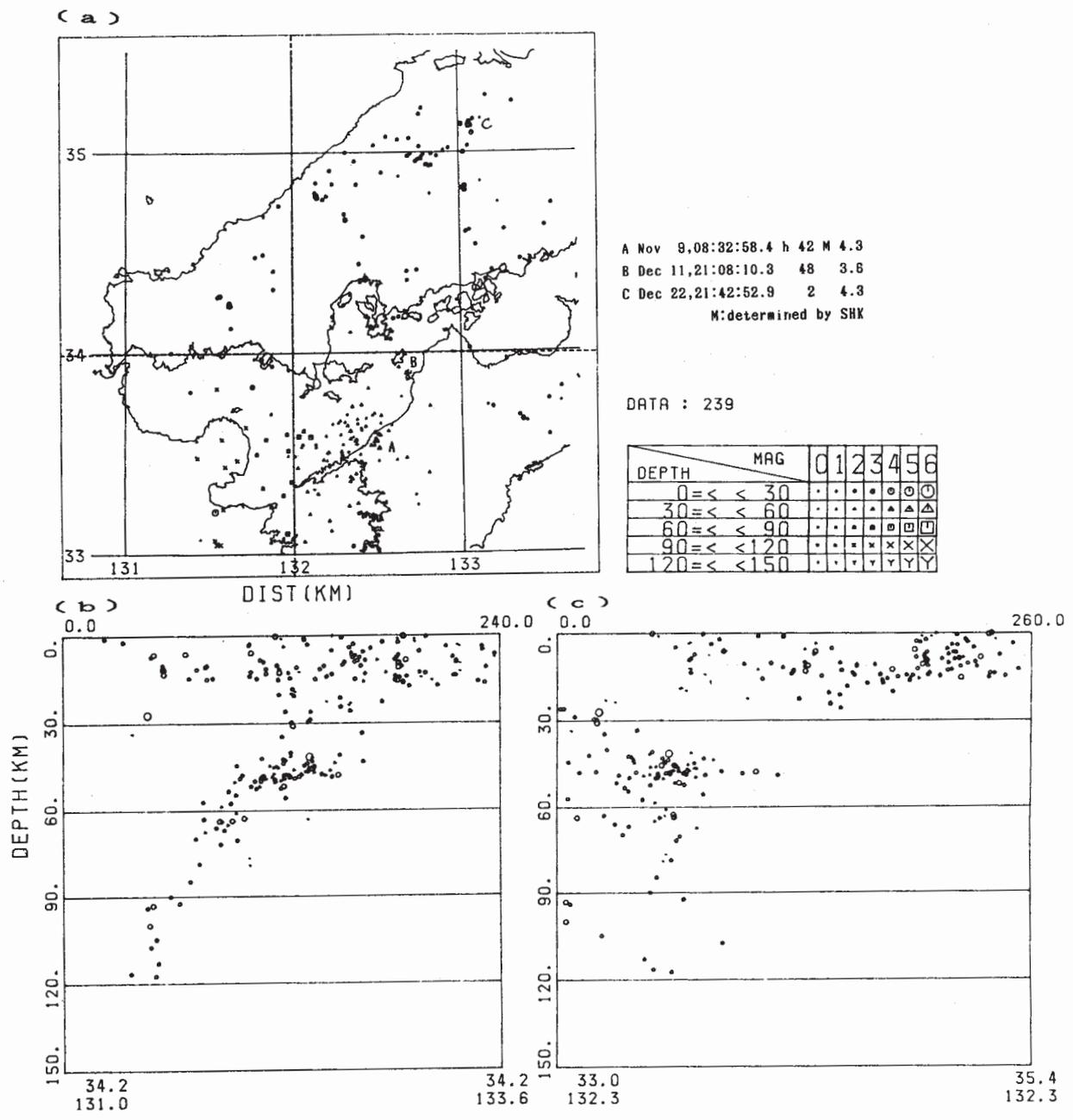
Recent Seismic Activity in and around Chugoku District
(November, 1986 - April, 1987)

東京大学地震研究所

白木微小地震観測所

Shiraki Microearthquake Observatory
Earthquake Research Institute, University of Tokyo

前の半年間は比較的静穏であったが、この期間は全体的に活発になり、気象庁の有感地震に加えて山口県中東部、三瓶山付近に現地有感と推定される地震活動があった。第1図～第3図には、当観測所によって震源決定された結果を、1986年11月から2箇月毎に示す。1986年11月12月の期間には第1図(a)に示すA, B, Cに、最大震度それぞれI(宇和島), I(広島), I(境, 福山)の3箇の有感地震が発生した。また、次の2箇月も含めて、山口県中・東部に最大M3.1の地震が数箇発生したが、現地有感の可能性がある。1987年1月2月の期間には、第2図(a)のAに、最大震度I(宇和島)の有感地震があった。他に、2月20日に三瓶山付近にM3.5の地震が発生している。気象庁では無感であるが、現地有感と推定される。三瓶山を含む島根県東部では、1977年5月にM5.3, 1978年6月にM6.1の地震が発生しており、10数年毎に、数年M5前後の地震が数箇発生する可能性があるため、注意をしてゆく必要がある。3月4月の期間には、第3図(a)に示されるA, Bに、それぞれ最大震度II(浜田), II(広島, 宇和島, 宿毛)の有感地震が発生した。前者は、1872年浜田地震(M7.1)が発生した地域である。第4図には、全期間の695箇の地震をまとめて示してある。

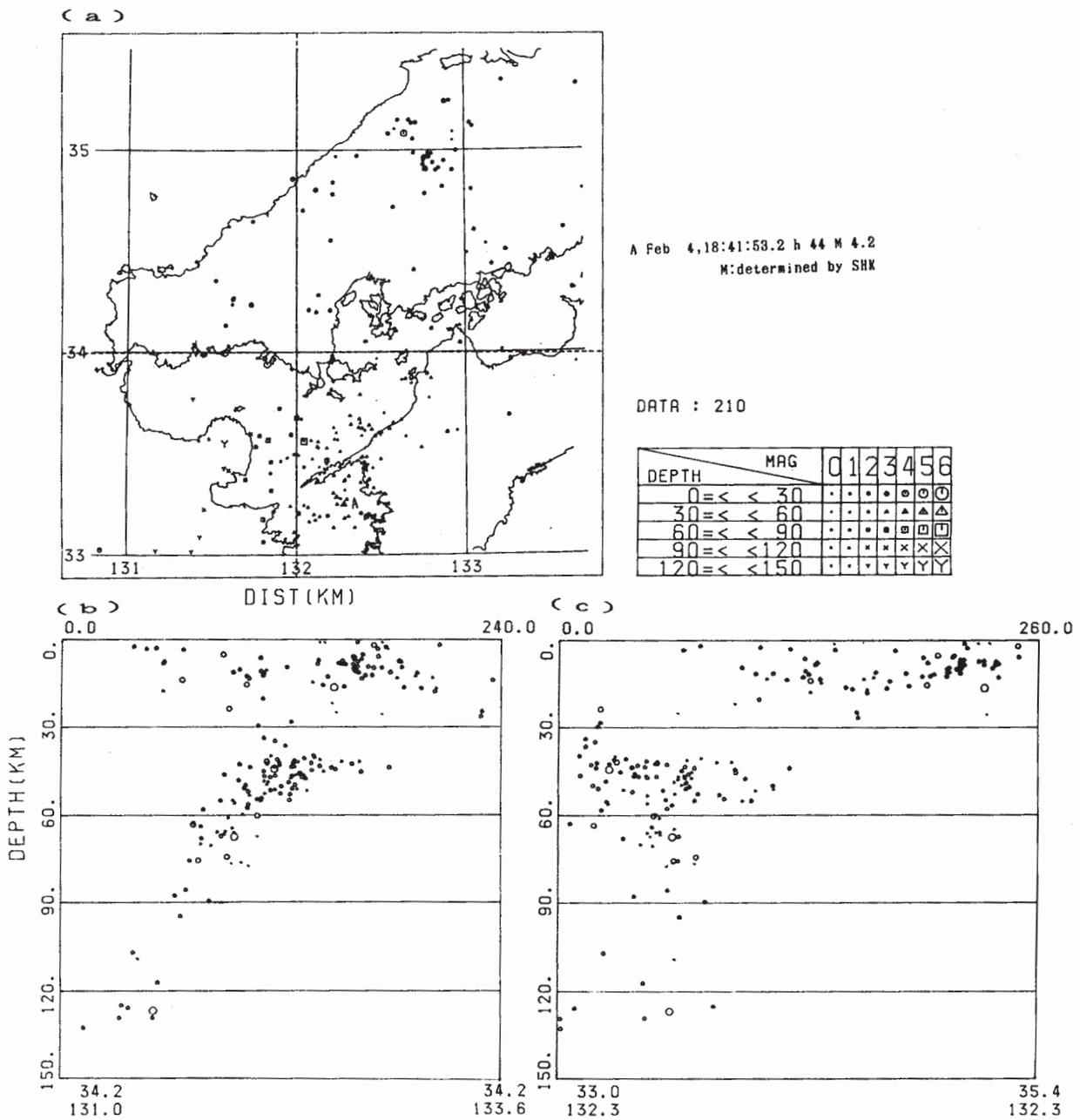


第1図 1986年11月～12月の地震活動

- (a) 震央分布図
- (b) 震源分布の東西断面図
- (c) 震源分布の南北断面図

Fig. 1 Seismic activity in and around Chugoku District (November - December, 1986).

- (a) Epicenter distribution.
- (b) East-west cross section of hypocenters.
- (c) North-south cross section of hypocenters.

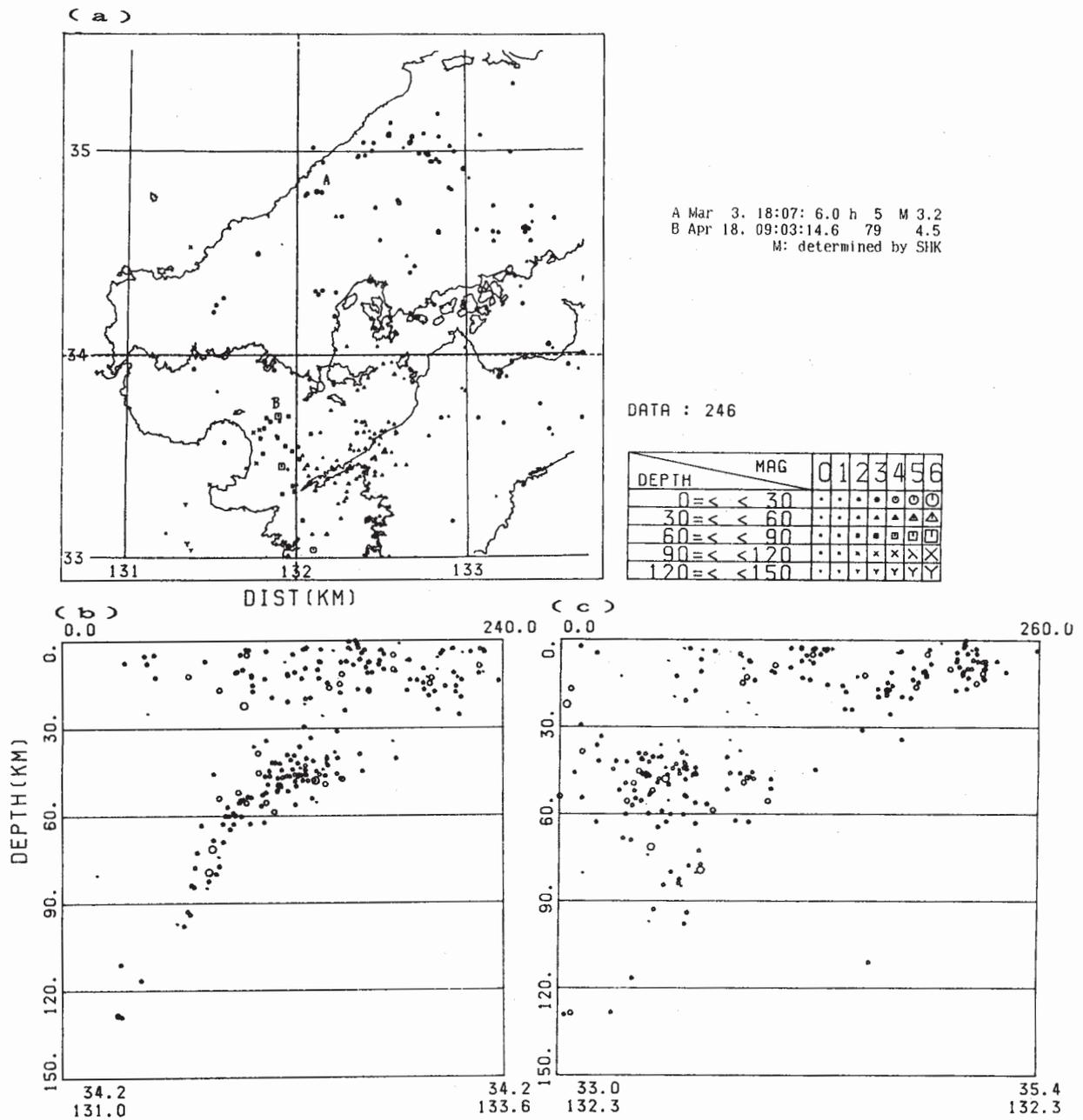


第2図 1987年1月～2月の地震活動

- (a) 震央分布図
- (b) 震源分布の東西断面図
- (c) 震源分布の南北断面図

Fig. 2 Seismic activity in and around Chugoku District (January - February, 1987).

- (a) Epicenter distribution.
- (b) East-west cross section of hypocenters.
- (c) North-south cross section of hypocenters.

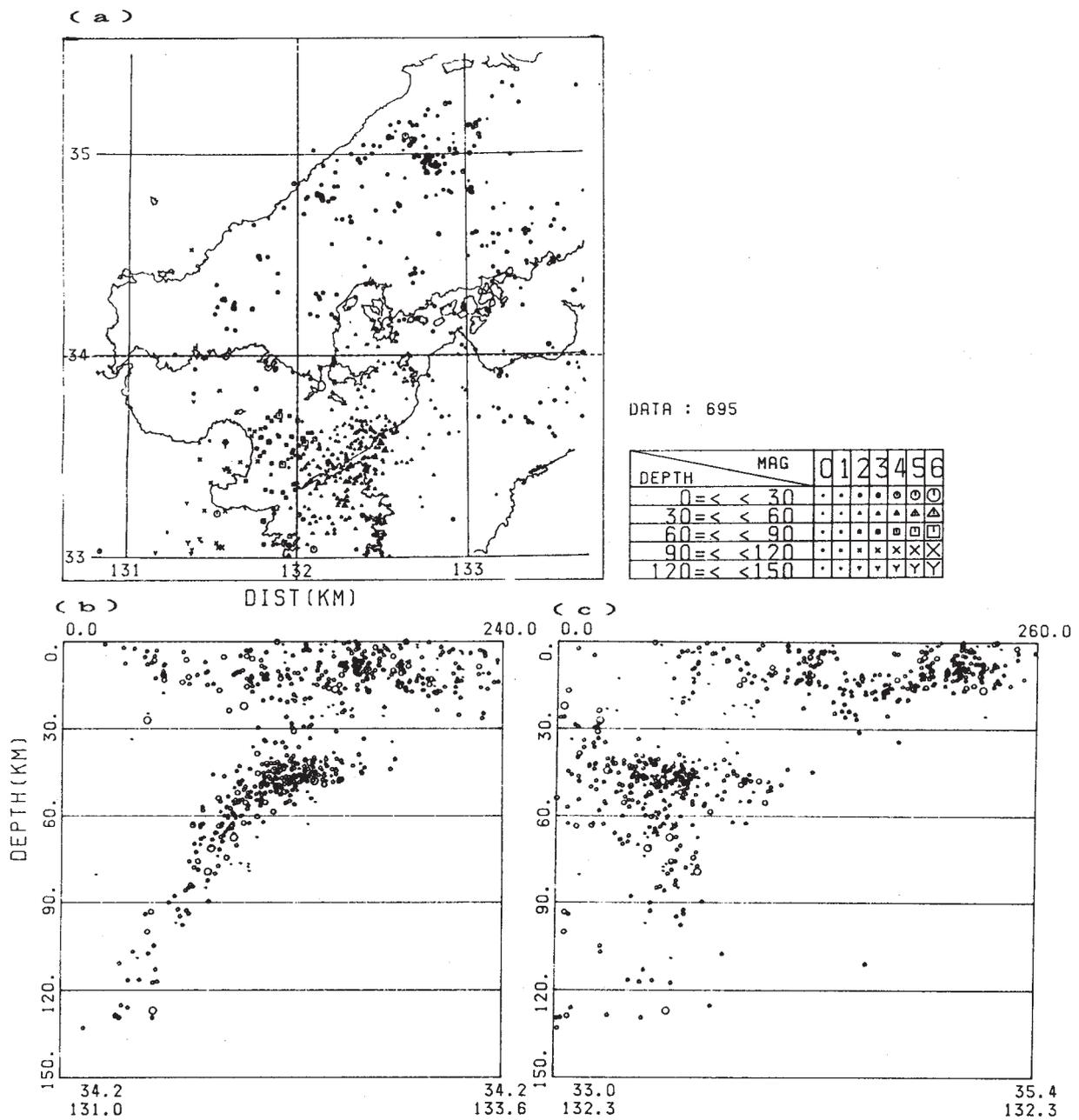


第3図 1987年3月～4月の地震活動

- (a) 震央分布図
- (b) 震源分布の東西断面図
- (c) 震源分布の南北断面図

Fig. 3 Seismic activity in and around Chugoku District (March - April, 1987).

- (a) Epicenter distribution.
- (b) East-west cross section of hypocenters.
- (c) North-south cross section of hypocenters.



第4図 1986年11月～1987年4月の地震活動

- (a) 震央分布図
- (b) 震源分布の東西断面図
- (c) 震源分布の南北断面図

Fig. 4 Seismic activity in and around Chugoku District (November, 1986 - April, 1987).
 (a) Epicenter distribution.
 (b) East-west cross section of hypocenters.
 (c) North-south cross section of hypocenters.